

平成 27 年度職員採用試験（大学卒業程度）  
水産 専門記述試験（27. 6. 28）

次の 2 つの課題のうち、いずれか 1 つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○水産資源の持続的な維持管理について

国際連合食糧農業機関（FAO）では、1995 年に漁業・養殖業に関する基本的な原則やその実施方法を定めた「責任ある漁業のための行動規範」が採択されました。その中で「各国及び水生生物資源の利用者は、水界生態系を保存すべきである。漁獲を行う権利は、水生生物資源の効果的な保存管理を確保するように責任ある方法で漁獲を行う義務と一体である。」と規定しており、資源管理は国・漁業者・消費者・遊漁者の責務であるとしています。

瀬戸内海では、温暖な気候の下、多くの種類の水産生物が生息できる豊かな海とされています。回遊するイワシやタチウオ、地先定着型の魚類（メバル、キジハタ、ガザミ、エビなど）が漁獲対象となっており、さらにカキやノリ養殖が海面を利用して行われています。しかしながら、安定した漁獲や養殖が維持されているとは言えない状況にあります。

今後、これらの水産資源を持続的に維持管理していくためには、どのような取組が必要となるか、あなたの意見とその理由を述べなさい。

## ＝ 課 題 2 ＝

### ○漁業秩序維持のための課題と対策について

本県海域は狭隘ながら、島嶼部が多く干満差も大きい等多様な漁場を有し、近隣県との相互入会を含む様々な漁業が操業されています。また、カキ養殖施設等の漁業施設が多い中、小型遊漁船から巨大船まで船舶の航行も輻輳しています。

本県では総トン数29トンの取締船により、漁業秩序維持に取り組んでいますが、複雑な海域特性を的確に把握、判断しながら安全に業務に取り組む必要があります。

このような中で、特に危険を伴う夜間取締における取締船の運航に関して留意すべき事項と対策を述べるとともに、漁業秩序を維持し漁業資源を適正に管理していくために取締業務が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

#### 【参考】

##### 取締船の主要目

##### ① 船体

アルミニウム合金製 ステップ船首月ディープVオメガ型

全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m

総トン数 29トン

##### ② 主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基

##### ③ 性能 航海速力 35ノット以上

##### ④ 船種 第4種船 航行区域 平水区域